

野菜にとつての、 良い環境づくりをサポートする A Jメッシュシートで 「無農薬栽培」を 楽しもう。

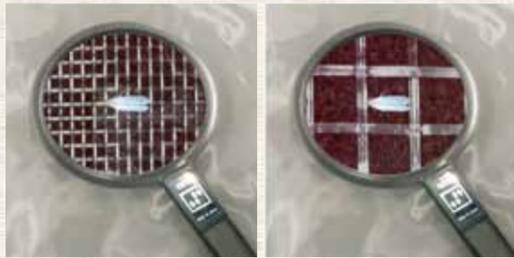
「無農薬栽培」の強い味方！ A Jメッシュシート がスゴい！！

ココが
ポイント！

土、太陽、風通し。環境が
美味しい野菜を育てます。

寒い冬が終わって、秋に植えた野菜は収穫の時期、春野菜はシーズンが始まりました。春は葉物野菜に加え、トマトやキュウリ、ナス、スイカなども種まきの時期。大切に育てて、採れたての野菜が持つ新鮮な美味しさを楽しみたいものです。

芽が出た野菜を育てていく時に注意したいのは害虫。コナジラミ、ア



0.25mm目合いの「AJメッシュシート」(左)と1mm目合いの市販の防虫シート(右)の拡大写真。コナジラミの体長は約1mm、メッシュシートは極小の虫も通しません

ブラムシ類、ヨトウムシ類、ハモグリバエなど、葉の汁を吸ったり、葉や実を食い荒らしたりと、野菜を弱らせるだけでなく、見た目にもよくありません。害虫の対策としては農薬を撒くという方法もありますが、

きるだけ安心して安全なものを育てたいですね。

そんな害虫対策として今回ご紹介したいのは「AJメッシュシート」という防虫ネット。織物の産地である福井県で、確かな技術と最新の織機を用いて作られており、メッシュが0.25mmと一般的なネットの1/4の細かさ。コナジラミなどの極小サイズの害虫の侵入をしっかりと防いでくれるものです。表面がキラキラ光るので虫自体を寄せない効果もあるようです。

防虫ネットで必要なものは
透光率と通気性。



メッシュが水を通すので、そのまま散水できます

さらに春は特に病気が発生しやすい時期ですから、風通しが大切になります。このネットは超極細の強力糸を使用し、開口率60%と抜群の通気性を持っているので、その中は蒸れることもありません。ネットの上から水遣りができるのもポイントです。また、80%以上の透光率があり、

野菜の成長を妨げる心配もありません。夜はネットが保温効果となるためか、路地栽培にも向いているとの声もあるようです。



トンネルがけにも使えます。※支柱はついていません



一般的なコンテナにも。※コンテナ、支柱はついていません

野菜のことを
考えているから、
プロの農家さんも満足。

さらに、このAJメッシュシートが喜ばれている理由がもう一つ。それはとても柔らかい素材でできているので使いやすく、ネットが野菜に触れても傷つけないこと。「商品をしっかり守ってくれる」とプロの生産者の方も大喜びです。

畑や路地栽培用のトンネルがけやベタがけもできるほか、コンテナ用のネットもあるとのこと。畑やベランダ、家庭菜園で、今年は無農薬栽培にチャレンジしてみたいかがでしょう。

生産者VOICE!

「野菜作りは、環境を良くしながら虫を入れないということが大切です。春は病気が発生しやすいですから風通しがよくないといけないですし、秋は虫が非常に発生します。シートはこだわって選びたいですね。」
(あわら市・専業農家Tさん夫妻と研修中のAさん)



●防虫ネット 〈AJメッシュシート〉

素材：ポリエステル100%
(1.8×5m) 1枚 2,980円
(1.8×10m) 1枚 3,980円
(1.8×100m) 1枚 34,800円

【お問い合わせ】

エイ・ジェイ・テックス株式会社
AJ TEX. CORPORATION

tel.0779-66-1671 <http://www.ajtex.com>

AJTEX

検索